

教科(科目)	英語コミュニケーションⅠ	単位数	4単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	FLEX ENGLISH COMMUNICATION Ⅰ（増進堂）				
副教材等	FLEX ENGLISH COMMUNICATION Ⅰ 予習&授業ノート（増進堂） 英単語ターゲット1200（旺文社） Focus on Listening Elementary（エミル出版） 英語速読演習 Mileage Reader① ジーニアス英和辞典第6版（大修館）				

1 学習目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

2 指導の重点

主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図る力を伸ばすために、  
①ペアワークやグループワークを重視し、他者と積極的に関わろうとする態度を育てます。  
②教材を通して様々な話題に触れ、自分の考えを深め、意見を発信する力を伸ばします。  
③自己表現に必要な英語の基本的知識の定着や語彙力の向上を目指します。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる能力を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

4 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	【知識】目的や場面、状況に応じて使用させる英語の適切な表現や用法を理解している。 【技能】学んだ知識を用いて、自分の考えや気持ちを適切に表現する基本的な技能を身につけている。	相手の意見や場面、状況を理解し、適切な表現を用いて情報や考えなどを伝え合ったりしている。	自分の考えを、相手に配慮しながら分かりやすいよう整理し、積極的に伝え合おうとしている。
評価方法	以上の点を踏まえ ①授業への取組（授業態度、授業での発言、ボランティア、ペアワークやグループワークの様子等） ②課題の取組状況 ③パフォーマンステスト・小テスト等 ④定期考査 などから総合的に評価する。	以上の点を踏まえ ①授業への取組（授業態度、授業での発言、ボランティア、ペアワークやグループワークの様子等） ②課題の取組状況 ③パフォーマンステスト・小テスト等 ④定期考査 などから総合的に評価する。	以上の点を踏まえ ①授業への取組（授業態度、授業での発言、ボランティア、ペアワークやグループワークの様子等） ②課題の取組状況 ③パフォーマンステスト・小テスト等 などから総合的に評価する。

5 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
4		2	英和辞典活用問題集	英和辞典の引き方・活用方	a, c	授業への取組状況 活動の様子

4	Reading Skill 1,2,3	3	Punctuation 品詞と文の 要素、文型	リーディングで用いる技能を本課 に入る前の準備として理解させ る。	a, b	授業への取組状況 活動の様子
4	Starting Lesson	3	Mascot Characters for Towns	・マスコットキャラクターの情報 や役割について理解させる。 ・キャラクターを考案し、紹介さ せる。	a, b, c	授業への取組状況 課題の取組状況 活動の様子
4	Lesson 1	8	How Can We Become Stronger?	・松岡修造氏が感謝の言葉を大切 にしている理由を読み取らせる。 ・自分なりのフレーズを考え、そ こに込めた思いを説明する。 ・助動詞/to 不定詞	a, b, c	授業への取組状況 課題の取組状況 活動の様子
5	Reading Skill 4,5	2	句と節、 and/but/or	・英語の句と節の考え方を理解さ せる。 ・and,but,or の働きを認識させ る。	a, b	授業への取組状況
5	1学期中間考査	1			a, b	
5	Lesson 2	10	The Jar of Life	・教授が学生たちに見せた実験の 内容とそれが何を意味しているか を読み取らせる。 ・自分にとっての泥、砂、石がそ れぞれ何かを考え、グループで共 有する。 ・動名詞/間接疑問文	a, b, c	授業への取組状況 課題の取組状況 活動の様子
6	Reading Skill 6	2	文のつな がり	・指示や代用、言い換えの表現に ついて理解させる。	a	授業への取組状況
6	Lesson 3	10	It's Always Sunny in Space	・エマの発表から、エネルギー問 題に対する JAXA の計画について 理解させる。 ・宇宙開発が与える影響について グループで話し合う。 ・後置修飾/現在完了形	a, b, c	授業への取組状況 課題の取組状況 活動の様子
6	Reading Skill 7	2	注意すべ き型	・5文型では区別しにくい、注意 すべき文型を理解させる。	a, b	
7	Lesson 4	10	Malala: Fighting for Women's Rights	・マラルアの半生について読み取 る。 ・マラルアのスピーチを聞き、感想 を伝え合う。 ・関係代名詞/過去完了形	a, b, c	授業への取組状況 課題の取組状況 パフォーマンステ スト
7	1学期期末考査	1			a, b	
8	Reading Skill 8	2	物語文の読 み方	・物語文の読み方を身につけさせ る。	a, b	授業への取組状況
9	Lesson 5	12	Mount Fuji	・富士山がどのような山か、また 昔の日本人が富士山をどう捉えて きたかを読み取らせる。 ・世界遺産を一つ選び、その魅力 を発表する。 ・使役動詞/節を導く形式主語 it	a, b, c	授業への取組状況 課題の取組状況

9 10	Lesson 6	10	Thomas the Tank Engine and SDGs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『きかんしゃトーマス』に SDGs が取り入れられた流れや意義を理解させる。</li> <li>・17のSDGsから1つ選び、それに関連した子ども向けの物語をグループで作成する。</li> <li>・関係代名詞 what/強調構文</li> </ul>	a, b, c	授業への取組状況 課題の取組状況 活動の様子
10	Reading Skill 9	1	論説文の読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論説文の読み方を身につけさせる。</li> </ul>	a, b	授業への取組状況
10	2学期中間考査	1			a, b	
11	Lesson 7	10	Virtual Water	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本が「仮想水」を多く使用している背景と、関連する問題について理解させる。</li> <li>・自宅での水の使用量に着目させ、どうすれば使用量を減らせるかグループで話し合う。</li> <li>・関係代名詞の非制限用法/関係副詞</li> </ul>	a, b, c	授業への取組状況 課題の取組状況 活動の様子
12	Lesson 8	12	Wearable Robots May Change Our Life	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HALというロボットについて理解させるとともに、開発者である山海教授の信念を理解させる。</li> <li>・ロボットのメリットやデメリットについて自分の考えを発表する。</li> <li>・仮定法過去/仮定法過去完了</li> </ul>	a, b, c	授業への取組状況 課題の取組状況 パフォーマンステスト
12	2学期期末考査	1			a, b	
1	Lesson 9	12	Biomimicry - Inspired by Nature -	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「バイオミミクリー」とは何か、具体例とともに読み取らせる。</li> <li>・バイオミミクリーによってどんな製品を生み出すことができるかグループで考え、発表する。</li> <li>・知覚動詞/分詞構文</li> </ul>	a, b, c	授業への取組状況 課題の取組状況 活動の様子
2	Lesson 10	12	Donald Keene and His Love of Japan	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドナルド・キーンとはどのような人物か読み取り、日本との関わりを理解させる。</li> <li>・前置詞+関係代名詞/完了進行形</li> </ul>	a, b, c	授業への取組状況 課題の取組状況 パフォーマンステスト
3	学年末考査	1			a, b	

計 128 時間 (55 分授業)

## 6 課題・提出物等

- ・毎週1回、小テストを行います。テスト範囲は学期毎に示します。
- ・各単元でエッセイライティングやスピーチ、発表など英語で表現する課題を設定します。
- ・長期休業中の課題は別途指示します。

## 7 担当者からの一言

言語を習得するには多くの時間と努力を必要とします。一人で学ぶよりも仲間と学び合う方が楽しく、効果的です。積極的に活動に参加し、一緒に成長しましょう。